

台湾連携ものづくり・新ビジネス創出事業

－台湾デザイン市場開拓事業－

Design utilization targeting the Taiwan market

工藤 洋司、赤田 朝子、小野 大輔、鳴海 藍

本事業は、商品企画支援ツール V-Cup を活用して県内企業の製品デザインの改良を推進し、台湾で真に売れる商品開発を支援することを目標に実施した。

台湾市場に対しても「ニーズ」に合わせた商品企画が必要であり、V-Cup による整理・企画手法が有効であることを昨年度の調査事業で確認したことを踏まえて、県内企業 5 社の参加を得て、商品企画、デザイン仕様書の作成、県内デザイナーによる商品の包装とポップのデザインを行った。また、調査に基づく台湾独特の配色と、今回アドバイザーとして事業参加した張氏の考察に基づくハイエンドユーザー向けエコデザインを、商品の特性に合わせて採用した。

本事業は県内企業と県内デザイナーの参加を得て実施したが、V-Cup に基づいて作成した「デザイン仕様書」は、企業とデザイナーを繋ぐコミュニケーションツールとしても有効であり、目的にあったデザインの制作に繋がる結果となった。また、商品企画や企業ブランドに対する参加事業者の意識醸成やノウハウ蓄積など人材育成が図られた。

商品企画では、「日本製/青森産」を核とした安全・安心、天然、伝統等の各社のブランド/商品イメージを台湾で選ばれる商品を目指す「訴求ポイント」とした。台湾台北市で展示会を開催し、アンケート調査を実地することで、上記の「訴求ポイント」が「好ましい情報」として台湾ユーザーに伝わっていたことを確認できた。

【参加企業（製品名）】小林漆器（津軽塗アクセサリ）、うるしづく（同前）、弘前銘醸株式会社（弘前銘醸シードル）、千畳猿川（魚粉バカペット用/魚粉ふりかけ）、カネショウ株式会社（バルサミアップル/バルサミコタイプりんご酢）【台湾デザインアドバイザー】張哲嘉 Tony Chang 氏（台北文化創作協会理事長）

